

長野市地域防災計画・水防計画の改定と 防災・減災の取組について

1 改定の概要

- ◆「防災アセスメント」調査結果を踏まえた修正
- ◆防災関係法令改正、国の防災基本計画等の修正
- ◆長野県地域防災計画、長野県水防計画との整合
- ◆令和元年東日本台風災害検証報告書の反映

令和元年東日本台風災害を経験し
はじめての全面的な計画改定

【R3年度】
災害対策基本法の一部改正(避難勧告の廃止等)及び
千曲川等の基準水位見直しにかかる計画改定を実施済

2 主な改定内容 ～新たに明記したもの～

- (1) 女性の視点を取り入れた災害対策の推進
- (2) 部局横断の専門チーム設置
- (3) 避難所開設マニュアル、避難所運営マニュアルに基づいた運用
- (4) 被災した観光地の復興
- (5) 南海トラフ地震対策
- (6) 防災気象情報の提供
- (7) 一時滞在施設の設置

～従来の内容を整理しまとめたもの～

- (1) 要配慮者利用施設における対策の整理
- (2) 受援計画の反映
- (3) 物資に関する記述の整理
- (4) 災害廃棄物処理計画の反映
- (5) 避難に関する記述の整理
- (6) ボランティア活動の環境整備、受け入れ体制
- (7) 義援物資について
- (8) タイムライン防災について

【改定の経過】

- ・10月25日の長野市防災会議で改定計画(案)を決定
- ・11月21日～12月20日 **パブリックコメント**を実施、**83件のご意見等**をいただく
- ・市議会災害対策等調査研究特別委員会からの意見等も踏まえパブコメ後の改定(案)を作成
- ・2月21日開催の長野市防災会議で決定
- ・4月1日から改定計画のスタート

洪水ハザードマップの作成・配布

1 概要

◆令和4年に県が公表した34河川の浸水想定区域図を含めた洪水ハザードマップを作成
(土尻川・岡田川・駒沢川・聖川・保科川など)

2 掲載内容

- (1) L2による浸水想定区域及び浸水深
- (2) 氾濫流による家屋倒壊区域
- (3) 土砂災害警戒区域・特別警戒区域
- (4) 避難場所・避難所
- (5) 洪水用法等の伝達方法
- (6) マイ・タイムラインの作成方法
- (7) 避難確保のための必要な事項等

地図面

防災学習面

3 活用方法等

- (1) 全戸配布(広報ながの8月号と同時配布予定)
- (2) 市ホームページでの公開
- (3) 出前講座等での活用

4 作成概要

仕様:A1版(縮尺1/12000程度)

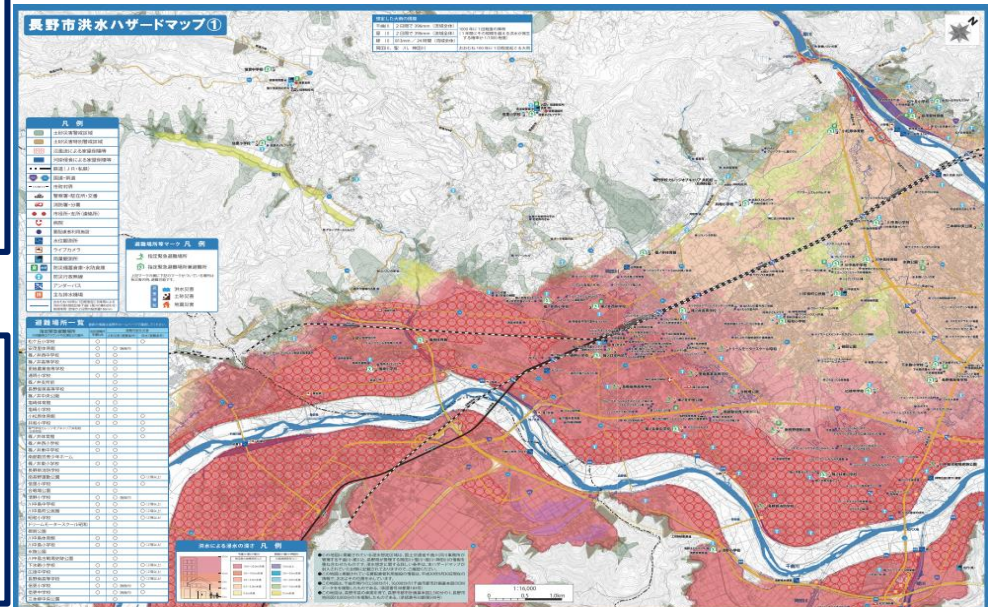
市内を15エリアに分けて地図面作成
(該当地区分を配布)

配布:地図面と防災学習面を封入して全戸配布

その他:GIS等のデジタルデータの更新

外国語版(英語、中国語)を作成

L2(想定最大規模降雨量):洪水発生確率 1/1000年程度



総合防災情報システムの更改

1 総合防災情報システム

- ◆防災情報や災害情報の収集を一元管理
- ◆災害対策本部で正確な情報共有のもとに意思決定
- ◆市民へ迅速・的確に災害情報等を提供

2 更改方針

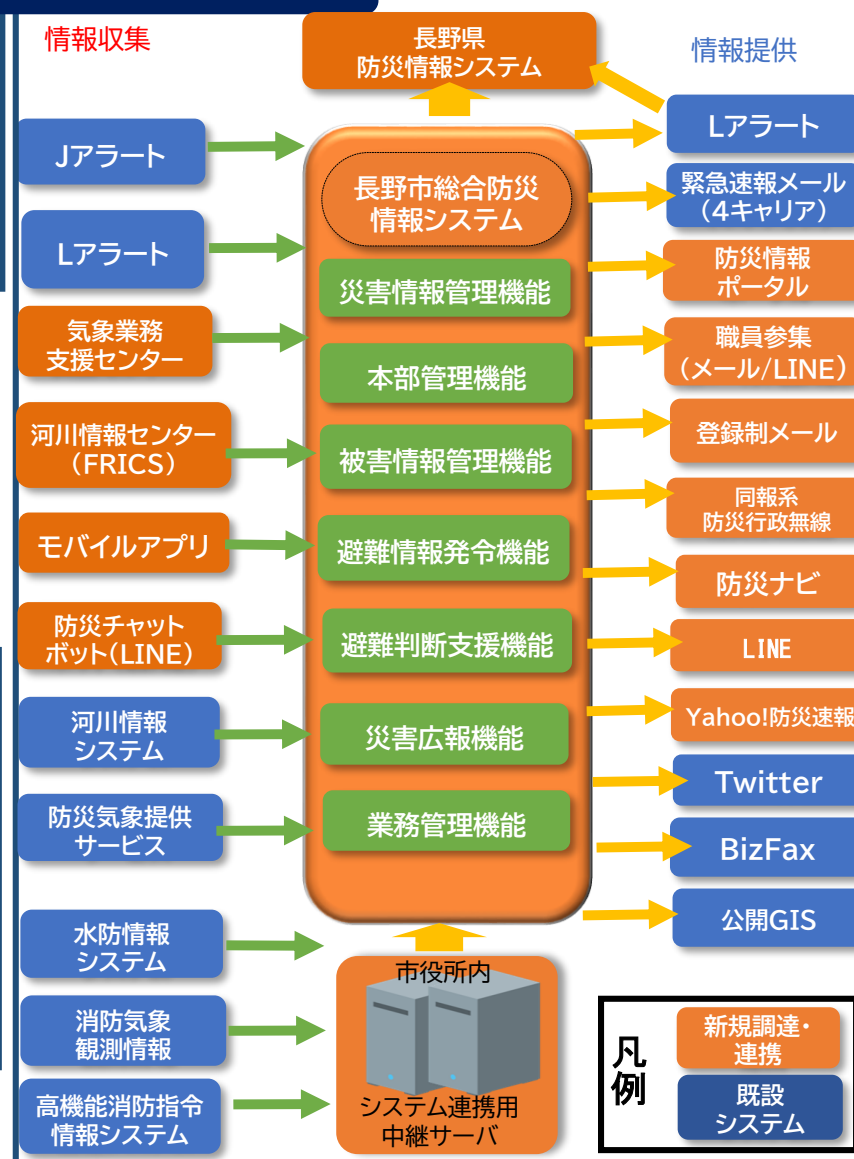
- (1)システムの全面的な入れ替えを行う
・令和4年度 構築 ・令和5年度 運用開始
- (2)プロポーザル方式で事業者を決定

3 新システム構築の考え

- (1)県の防災情報システムとの連携強化 ⇒ 情報の共有
- (2)機能の整理・クラウド環境へ移行 ⇒ コスト縮減
- (3)新機能の追加・陳腐化への対応 ⇒
情報提供機能を本体システムの中に取り込まず、
それぞれの機能を調達・連携

- ・LINEの防災チャットボット機能を実装
- ・操作性の向上により迅速な避難情報発令を実現

5 新システム構成図



長野市災害時備蓄品等整備計画の改定

1 改定の概要

- ◆現行計画を検証し、地域防災計画見直しのために実施した新たな防災アセスメント結果を基に、
①備蓄目標数・内容 ②拠点備蓄倉庫のあり方等について、新たな5カ年計画(第四次計画R5～9)を定める

2 主な改定内容

◆R3防災アセスメント結果を基に公的備蓄の目標数を設定

R3防災アセスメント被害想定 (長野盆地西縁断層帯地震)	H28 アセスメント結果	R3 アセスメント結果	増減率
被災 1日後 避難者数(人)	71,800	53,000	△35%

人口減少及び建築物の耐震化促進による

- (1)目標を充足している品目
➔扱い易い・高品質なものに移行

扱い易いものの例

フリーズドライのシチュー & ビスケット
(お湯を入れて調理する必要)

レトルト味付きご飯
(調理不要・アレルギー対応)

高品質の例

簡易洋式
仮設トイレ

簡易水洗型仮
設トイレ

- (2)目標が未充足品目
➔必要量の50%に目標再設定、残りはプッシュ
型支援・協定先で対応(段ボールベッド、オムツ等)



◆拠点備蓄倉庫等の配置と今後の整備等の方向性を示す

この計画改定を踏まえて、市民の皆様へ改めて「家庭内備蓄」及び「事業所備蓄」を呼び掛けていく

【家庭内備蓄】一般流通が十分機能していない発災直後から3日間(可能なら1週間)は、自ら補えるよう「家庭内備蓄」に努めていただくことをお願いしたい。(食料以外の非常持出品も)

【事業所備蓄】災害時において来場者や従業員等の安全確保を第一に取り組むとともに、帰宅が困難な場合や事業継続のために必要な備蓄をお願いしたい。

災害対応力強化の取組④

令和4年10月2日 総合防災訓練 (6年ぶり実施)

場 所 芹田地区(南部小学校等)
 訓練内容 情報伝達、避難所開設、炊出し、応急救護所
 参加人数 約550人
 参加団体 長野県、長野県警察、長野市医師会、長野市消防団、
 NTT東日本(株)長野支店、長野LPガス協会、
 芹田地区住民自治協議会、日赤奉仕団芹田分団



令和5年2月16日 震災対応図上訓練 (4年ぶり実施)

実施方式 状況付与型のロールプレイング方式
 想 定 糸魚川-静岡構造線断層帯の地震が発生し、
 長野市内は、最大震度6強を観測
 参加人数 約160人
 参加団体 防衛省陸上自衛隊、長野県、長野県警察、
 NTT東日本(株)長野支店、長野都市ガス(株)、
 中部電力パワーグリッド(株)長野営業所



訓練を積み重ね、災害対応力を強化していく。市民の皆様にも地域の訓練等へ積極的に参加いただきたい。